

文京区

町会ってなんだろう?どんな活動しているの?あらぶんちよ地区の町会長にお聞きします

あらぶんちよ町会見聞録

第19回



町会に参加すると、地域に仲間ができたり、自分が住んでいるまちに対して愛着が生まれたり。まずはお祭りやイベントに参加してみよう!



子どもたちが“故郷”と 感じられるような 楽しい思い出づくりを



世代間の橋渡し役となって、町会活動の輪を広げていきたい

本郷二丁目弓二会 会長 **小川 豪**さん

今年で町会長になって6年目。50歳になった今も、どこの町会を見ても自分が一番後輩です。町会内に若い世帯は増えていますが、約7割はマンションの高層階に住んでいて町会という「地べたの活動」には目が向かない(笑)。若い層も呼び込むため世代交代しよう、前会長をはじめ役員の皆様から勧められて町会長になりました。

とはいえ、役員の大半は60代後半〜70代です。そんな中で私の役割は、世代間の橋渡しのようなものかなと考えています。高齢の世代は新しい人に親切心からいろいろ説明をしますが、新しい人はあまりたくさんの話をされると引いてしまう。だから、自分がその間を取り持てればと思っています。私自身は10年ほど前に本郷小学校でPTA会長を務め、それをきかっけに続けている地域活動などで保護者とのつながりもあるので、若い世代にも声をかけています。少しずつ町会の準備構成メンバーも増えてきました。今後活動の輪を広げていきたいですね。

●本郷二丁目弓二会

江戸時代に御弓組と力同心六組の組屋敷があったことから「本郷弓町」という昔の町名が、町会名に一部残る。世帯数は1000程度で、住宅が約950、企業や商店が約50。本郷三丁目駅近くのエリアでマンションが多く、若い子育て世帯も増加中。

経営する新聞販売店が町会活動の要



新聞販売店前の大横丁通り商店街で行われる「子供お祭り天国」。櫻木神社の例大祭と一緒に行われ、町会全体が盛り上がる。

お知らせには、掲示、ポステイング、フェイスブックを活用しています。町会のフェイスブックは私が立ち上げました。マメに更新していて、フォローしてくれている人も増えました。私は新聞の販売店を経営しているので、スタッフも町会活動に協力してくれています。ポステイングは得意なので(笑)、重要な情報は目に留まりやすいようにポステイングしています。事務作業や役員会、祭礼の神酒所、夜警の詰所にも販売店を活用しています。



防災リュックと一緒に、日常備蓄についてまとめられた東京都のチラシを配布し、防災意識を高めた。

用していて、ここが町会活動の要になっています。

町会の楽しいイベントで子どもたちの故郷に

東京に住んでいると「故郷」という感覚がありません。子どもたちにはそういう感覚を持つてもらいたいなと思っています。例えば、町会のイベントで楽しい思い出ができれば、引越しても戻ってくる可能性があるが越しても戻ってくる可能性があまりないですが、恒例行事としては、9月の櫻木神社の例大祭と同時に「子供お祭り天国」を開催しています。射的やゲーム、たこ焼きなど、家族連れで賑わいます。他にもこんなイベントを作っていきたいですね。

コロナ禍で大きな活動はできませんが、3月に防災グッズが詰まったリュックなどを配りましました。災害はいつ起こるかかわからないので、できることから進めています。コロナ禍を準備の時と捉えて、ゆっくり流れを作っていきたいと思っています。



若い家族にも人気の 行事を通じて、人と人の つながりを深めたい

住民が触れ合う機会を設けて、災害に対応できる関係づくりを

春日二丁目町会 会長 村越 義晴さん

町会長になって10年以上が経ちました。その間に新しく役員として参加された方は2〜3名ほど。年々高齢化が進んでいるので、ぜひ若い方にも参加していただいで、町会が活性化されることを期待しています。

私が町会にかかわるようになったのは、定年退職をして間もなくのタイミング。町会のバスハイクに参加したときに、手伝ってもらえないかと声をかけられたのがきっかけです。町会長になってからは、活動しやすいように組織を整理しました。似た活動をしている部が重複していたので、部長を同じ人が兼務していたので、それを一つにまとめて動きやすい形にしました。

活動しやすいように 町会の組織を整理



●春日二丁目町会

茗荷谷駅と後楽園駅の中間あたりに位置する、落ち着いた住宅街。江戸時代に幕府の先手組の同心屋敷があったことから、旧町名は同心町。町会も同心町会だったが、町名変更に伴い、金富町会と合併して昭和39年に春日二丁目町会へ改称。

人気のイベントにも コロナが影響

町会の世帯数は約1000世帯で、戸建住宅とマンションの割合はほぼ半々。若いご家族も多いので、町会の行事は家族連れも含めてたくさん参加者で賑わいます。10月の日帰りバスハイクは、希望者が募集人員を上回るほど。年末の夜警もお子さんには楽しいイベントのようで、1日10人は集まります。このほか、オリンピックもあるので春日通りをきれいにしようと、2年前から6月と12月に大掃除を実施しています。

ただ、役員は高齢化しているの、コロナ禍で町会活動がストップすると復活させる力が湧いてこない。水道端町会、第六天町会、武島町会、西江戸川町会と合同で行っていた「礪南5ヶ町夏祭」は29回続けてきましたが、コロナで休止後、解散することになってしまいました。町会は昔からの流れがあつて



毎年10月に行うバスハイクは家族連れも多く参加。写真は「清里高原散策と小海線の旅」で訪れた、美し森展望台での記念ショット。

新しい人が溶け込みにくい雰囲気があります。人気行事が続けられるように、若い方も馴染める町会にしていきたいですね。

災害時に動けるように 準備はしっかりと

避難所は夏祭と同じ5町会が金富小学校に指定されています。うちの町会は丸ノ内線が走っていて上にかかる橋が崩落すると動けなくなる可能性も。5町会のうち誰かがたどり着いて避難所の準備ができるように、町会長全員が鍵を保管することになりました。ペット同伴の避難訓練も実施。金富小学校は校庭が2つに分かれていてちようどよい環境です。東日本大震災時には避難所を開設するが混乱した面もあったので、自分たちで動けるように準備したいですね。

災害時は人と人のつながりが重要。いざというときに協力できるように、町会の行事などを通じて若い方たちと触れ合う機会も大切にしていきたいです。



小石川消防署管内の町会合同で行われた防災訓練。消防署の指導で、非常時の対応などしっかり学んだ。

防災・災害情報をリアルタイムで! TCNコミチャンをご活用ください

「防災行政無線」で安全・安心

◆「防災行政無線の音声をテレビで聞く」

防災行政無線の屋外スピーカーから流れる音声をそのままテレビで聞くことができます。(荒川区、文京区のみとなります。)

利用方法

屋外スピーカーから防災行政無線の音声が聞こえたら・

- 1 地上デジタル11ch(TCNコミチャン)を選択
- 2 「防災行政無線の音声をテレビ聞く」表示が出たらリモコンの黄ボタンを押す



地域の防災にご活用ください

◆「荒川河川カメラ」毎日ライブ放送

TCNのコミチャンでは、国土交通省「荒川河川カメラ」のライブ映像を放送しています。在宅での水位確認および避難判断や、平常時のお天気チェックなど、ぜひご活用ください。

放送時間 地デジ11ch 毎日 10:00～、13:25～他



再開発計画が間もなく終了。 町会、住民、企業、商店が 協力して新しいまちへ

災害に強く、賑わいにあふれるまちを目指して活動

春日町三丁目町会 会長 杉田 明治さん



●春日町三丁目町会

昭和22年に結成。現在の町名は「小石川一丁目」だが、町会名は以前の町名のまま使用している。東京メトロ丸ノ内線・南北線、都営地下鉄大江戸線・三田線が交差する利便性の良い地域。平成11年度から動き出した再開発が間もなく完成予定。

町会のほぼすべての エリアで再開発が進行中

当町会は、春日通り、千川通り、白山通り、言問通りに囲まれたエリアです。町会のほぼ全域で、平成11年度から話が始まった「春日・後楽園駅前地区市街地再開発事業」が進行中。間もなく工事が終了するところまでできました。

通常の再開発は、例えば品川のJ丁の跡地のように大きな土地があつて始まりますが、ここでは小さな権利者が集まって自主的にスタートした珍しいケース。北街区、西街区、南街区に分かれ、企業のオフィス、病院や商業施設のほか、南街区には読売理工学院さんを誘致しました。マンションは720戸の住宅が新しくでき、既存の住宅と合わ

せると、1100戸ほどになる予定。現在、徐々に入居が始まつていくところです。

町会のイベントを通じて 企業とも顔見知り

再開発の話が持ち上がったのは2代前の町会長のころ。私もまだ50代でした。まちづくりのコンセプトを決め、コンペを行い、事業協力者のゼネコンを探し、近隣のご理解を得て…と、ずっと関わってきましたが本当に大変でした。短期間で終わらせたかったのですが、とんでもない。具体的に再開発が始まってから18年ほどかかりました。

それでも町会の活動のおかげで風通しは良かったですね。大きな企業もオフィスを構えているため、顔見知りになる機会を作ろうと、7月の第2金曜日の夜に「牛の2頭分丸焼大会」を開催してきました。各企業からも肉を焼く係の人員を出していただき、多くの人で賑わう名物企画となり、30年ほど続いてい



大盛況の「牛の2頭分丸焼大会」。綿菓子やかき氷なども無料で提供される。「読売理工学院の留学生に母国の料理の模擬店を出してもらいたい」と、今後の構想も広がる。

ます。このほかにも、白山神社の例大祭や文京朝顔・ほおずき市などの行事も人気です。ここ2年はコロナの影響で実施できていませんが、新しいまちで、ぜひまた開催したいですね。

再開発後の目標は、 防災組織、賑わいづくり

これからの課題は防災面。簡易トイレや備蓄など、新しいまちにハード面は整えています。その機能をしっかり動かす人がいなくては役に立ちません。マンションの管理組合は1年でメンバーが交代してしまうので、町会として防災組織を別に作る必要があると考えています。

賑わいを生み出すまちにしたいという目標もあります。商業施設には飲食店の出店も予定していますが、コロナ禍なのでもう少し時間がかかりそうです。新しい住民、企業や商店と連携し、町会を担う次世代の若いメンバーに引き継ぎながら、魅力的なまちにしていきたいですね。



毎年9月の白山神社例大祭は多くの人で盛り上がる。今後は、街区の中央部を南北に抜ける緑地帯「グリーンバレー」に神酒所を設置する予定。

TCNからのお知らせ②

<QUOカードが当たるキャンペーン実施中>スマートフォン・携帯電話向け「TCNお知らせメール」

■TCNお知らせメールとは・・・
TCNからの大切なお知らせ・おトクな情報をスマートフォン・携帯電話へメールでお届け。
※受信するメールは3つからお選びいただけます

- ①障害・メンテナンス情報
- ②今週の「コミチャン」放送予定
- ③TCNからのプレゼント・キャンペーン情報を配信します。

<TCNお知らせメールに新規登録すると抽選でプレゼント!>

*プレゼント内容:QUOカード(500円分)[20名様] *キャンペーン期間:9月14日(火)まで

*登録・応募方法:

- ①TCNお知らせメールに新規登録
- ②登録アドレスへ「登録完了メール」が届きます
- ③「登録完了メール」に記載のプレゼント応募フォームURLへアクセス

※プレゼントご応募の際にTCNお知らせメールへ登録のアドレスと同一のメールアドレスを入力してください

TCNお知らせメール
新規登録はこちら▶



あら、ぶんちよかわら片版

荒川区・文京区・千代田区には地域活性化のために活動されている団体がたくさんあります。そんな活動の一部をご紹介します！



地域連携ステーション フミコムより
文京区のオススメ地域活動を紹介！

フミコムHP



文京区の屋上養蜂プログラム 「見学会」参加者募集中！

今年、文京区で養蜂関連活動を通じて人と地域との接点を増やす取り組みが新たに始まりました。現在、一緒に活動する仲間を募集しています。
まずは、不定期で開催している養蜂現場の見学会にお越しください。
見学会などの詳細は下記のLINEで情報をお送りします。是非ご登録ください。



●お問合せ先
ぶんぶく
屋上養蜂部



facebookページ



LINE公式アカウント

ワークスペースさきちゃんち 9月下旬OPEN、只今準備中！

対象年齢を限定しない多世代型の居場所「ワークスペースさきちゃんち」(下写真は完成イメージ)。まちの本棚、まちの上映会(右写真)、国際交流部、みんなの手作り空間、読書会や勉強会など、様々なサロンが開催される予定です。イベントは随時開催中。詳細は団体webをご覧ください。



ワークスペースさきちゃんち 文京区白山2-13-6 1階(白山に い〜サロン)



●お問合せ先
さきちゃんち
運営委員会

メール：
info@sakichanchi.org
電話：
050-5539-3614



団体Web